

# WEEKLY

# 一宮

題字 PG 安野謙次



重文「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary  
Ichinomiya



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日  
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話<0586>24-1931 ☎491-0858



## 世界に希望を生み出そう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

### 2023年10月12日 第3567回例会

会長 足立 誠 会長エレクト 佐々木久直  
幹事 富田 隆裕 副幹事 鶴飼雅弘  
副会長 山上 哲司 会報委員長 野村和弘

#### プログラム

尾西RC合同ガバナー公式訪問

酒井 法丈君

(豊田RC)

ロータリーソング 「我等の生業」

第3566回例会の記録  
2023年10月5日(木)

#### 会長挨拶

足立 誠

「縁」という言葉に興味を持っておられる方が多い。一般的に人と人との繋がりを指すと考えられており、かつ仕事の上でも、人との交わりの上でも大切にしている。

元々は、人の行為によって自らの将来・未来が決定されることを指す。近いところでは「善因善果」・「悪因悪果」を自らの身をもって体験し、遠いところでは自らの次の「生」(命のあり方)を決定する。

明治維新以降特に強まった日本人の気風、つまり「努力は報われる」(善因善果)という倫理観に合致して、広く支持されているが、インド思想の流れをくむ仏教の教義としては、この一生において、というよりは次の「生」が大きな問題となっている。

輪廻を肯定しながら、人間の行ないに善悪の結果を求めない楽観的な思想も、おしゃカ様当時にある中、現代の日本において、「縁」、「業」や倫理観が根強く継承されていることは、感慨深い。

#### 理事会報告

富田隆裕

##### \* 報告事項 \*

- ☆ 10月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 9月度のニコボックス 55,000 円
- ☆ 9月度のドリンクニコボックスは 4,770 円
- ☆ ロータリーレート10月から 149円(現行 146 円)

#### 次回の予定

10/19 休会 定款第7条第1節d  
10/26 イニシエーションスピーチ  
森 大介君 永井一人君

\*\*\*\*\*

#### 国際ロータリー第2760地区

#### 2023-2024 年度 ガバナー

酒井 法丈君 (豊田RC)



生年月日 1957年8月29日  
職業分類 警備保障業務  
勤務先 豊田東海警備(株)  
役職 代表取締役

#### ロータリー歴

1998年3月 豊田RC入会  
2018~19年度 幹事  
2022~23年度 会長  
マルチプルポールハリスフェロー  
パネファクター/ポール・ハリス・ソサエティ  
第6回米山功労者

\*\*\*\*\*

#### \* 協議事項 \* 以下の項目を承認

- ☆ RFF日程変更に伴うプログラム変更  
4/20.21 を 5/11.12 開催に変更  
4/18 ⇒ 通常例会 5/9 ⇒ 5/11(土)に例会変更
- ☆ 夜間例会開催 11月16日(木)例会変更
- ☆ 子ども食堂開催 11月18日(土)
- ☆ 職業奉仕委員長会議副委員長登録
- ☆ 第13期RLI会長エレクト研修パートII登録
- ☆ 第2回西尾張分区分会幹事会登録
- ☆ 尾張中央RC創立40周年記念式典ご祝儀
- ☆ 秋季米山奨学生学友合同研修会登録
- ☆ 第32回地区RYLAセミナー 大成IAC依頼
- ☆ 私の職業奉仕第11編発刊
- ☆ 赤い羽根共同募金 10,000 円拠出
- ☆ モロッコ地震救援基金 継続審議
- ☆ 例会用ノートパソコン購入
- ☆ 10月末引き落とし 地区大会登録料 晚餐会

#### 委員会報告

##### ニコボックス

原 正則

- ☆ 木村憲彦君 浅井孝介君  
10月は米山月間で、米山奨学生レ・ハン・ティビックさんよりテーマ「留学で得られた成果について」の卓話をして頂きます。一宮RCに参加して半年が経ち2回目の発表を楽しみにしています。
- ☆ 足立 誠君 富田隆裕君  
本日、米山奨学生のレ・ハン・ティビックさんにお越し頂いた喜びで。学生生活、日本での活動などいろいろお話を聞かせてください。

## 出席報告

現在の会員数 111名  
本日の出席数 65名  
前々回の出席率 100%

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

### 米山月間卓話

米山奨学生 レ・ティビック・ハンさん

テーマ「留学で得られた成果について」



この度はロータリー米山奨学生に採用して頂き心より感謝しております。給付して頂いた奨学金は、私の学生生活の上で大きな支えとなり、より一層学業に専念することができました。その結果日本で就職が決まったことや運転免許取得など留學生活で様々な成果が得られ、皆様に嬉しく報告させていただきます。これらの成果に対する私の喜びや感謝の気持ちをお伝えします。

日本の留學生活をスタートしたのが5年前の夏でした。日本に到着した初日から一番印象に残ったのは40度近い暑さの中でもきちんとしたスーツを着て歩く人々の姿でした。今後の仕事や就職などについて、全く考えたことのないその時点の自分はその会社員の姿に感銘を受け将来きっと日本で就職しようと大きな目標を設けました。

今年度ロータリー米山奨学生になると共に大学の4年生にもなりました。学生生活が長いようであっという間に来日して5年目になりました。ほかの大学4年生と同じく次のステップとして進路を検討しなければならない時期を迎えます。母国に帰って就職するか大学院に進学するか別の国で留學を続けるかと色々な選択肢があるにもかかわらず日本で就職すると最初の目標へ向かって頑張りました。

就職活動などを初めて聞いたとき、詳しく理解できませんでした。就活とは仕事を探索するのではないかと自然な考え方で就活その言葉を覚えただけです。しかし現在経験者として日本の就職活動が独自の文化に一つだと感じられています。日本の就活文化は母国のベトナムと比較して独特な特徴があり、この話しをきっかけで母国の就活についても伝えたくて聞いていただければ幸いです。日本の就活が大体大学3年目から始まり就活のためにインターンシップへの参加や就活フェア、企業の説明会、面接の練習など、在学中のうちに、多くの時間を費やし、準備します。日本は在学中に就活するのは基本的ですがベトナムは就活時期がなく大学を卒業してから就活をスタートするのが一般的です。自分自身は日本で就職活動を経験して最初の感情は不安でした。競争の激しい日本では自分が適切な仕事を見つけるかどうかの不安がありました。最初のステップでは履歴書やエントリーシートの作成で非常に詳細で、自己分析とキャリアゴールの明確化が求められます。最も大変だったのが、自分が伝えたいものを母国語でもない言葉で言語化することです。

た。長い間、日本語を学んでいるが、なかなかその大変を感じておりました。そして面接では、また挑戦でした。面接官の前で自己紹介や過去の経験、志望動機などを話すことは緊張感を伴うものでしたが、コミュニケーションスキルや自分のことを表現する機会もできました。

就職活動を経験して、失敗、挫折や不採用のことを心配していたこともあり。自分の就活経験というと、あまりにも豊富でもないですが最終的に二つ会社から内々定を獲得しました。一つ目はドラッグストアチェーンを展開しているゲンキー株式会社とインテリアに関する、株式会社ニトリホールディングスあるいはニトリとも言います。内々定を獲得した瞬間の達成感や誇りを感じておりました。日本で内定を獲得したことで、これからのキャリアに向けて大きな希望を抱いております。多くの企業との面接を経て、理想の職場である株式会社ニトリホールディングスの内定を承諾しました。皆様もご存知のように、日本全国で出店された日常生活に身近なニトリはインテリア家具・雑貨などを取り扱う会社です。自分がニトリを選択した理由としては簡単に言うとベトナム国内にいる母親はカーテンや布団などを中心にインテリア系の専門店を運営しており自分自身が、お客様のニーズに合わせた提案をしたりデザインしたり、設置したりする手伝いをした経験がありました。家の内装飾りで、その場の雰囲気を変化して人を笑顔にできるのでやりがいがあると感じており、それを引き続きより多くの人に幸せを届けるインテリアに関する仕事をしたいので選びました。

10月1日にニトリの内定式に参加しました。新型コロナウイルスが発生して以来4年ぶりに開催された内定式だったそうで、東京の新宿でグループ内の各社一括で開催され、内定者の千人以上も参加しました。会社の歴史、価値観やロマンなども色々に説明して頂いたんですが、最も印象的なのはニトリの代表取締役会長、似鳥昭雄さんからの挑戦による成功の話でした。「世の中にできないことは一切なく、やってみないと」という言葉を共有し、挑戦による成功を強調されました。内定式に参加したことで今まで学生としての自分は、これから社会人として役割への移動をある程度感じていました。未知の未来へのワクワク感もあり、社会人としてのキャリアの形成や挑戦などを覚悟しておきました。

また運転免許証の習得についても非常に喜ばしい成果の一つです。運転免許の取得も私にとって大きな達成感をもたらしました。名古屋から遠く離れた鳥取県での自動車学校に通い交通法規や安全運転の技術を習得し、厳格な運転試験や学科試験を受け合格しました。これにより日常生活や今後の仕事への通勤が便利になり自由度が向上しました。

さらに、ロータリー米山奨学生になったことも、留學生活における大きな成果であり、自分にとって非常に誇りに思う瞬間でした。経済的支援だけでなく、人脈づくりや新たな友達を得る機会でもありました。留學生コミュニティで多くの友達を作り、異なる背景や文化を理解する機会にもなりました。これらの成果は日本での留學生活は素晴らしいものになりました。これらの経験は私の人生にとって貴重なもので大切にしており、これからも、感謝の気持ちを忘れず、新たな挑戦に向かって歩み続けて参ります。